

平成30年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属自由ヶ丘幼稚園

No.	基本目標	【業務事業】 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の充実	[保育の質の向上] 計画的な研修の実施および参加	月案を毎月、週案を毎週提出のうえ指導を行うことで、PDCAサイクルを確立し、保育の質の向上を図った。また三園合同研修会を計画とおりに開催し、園全体の課題に向けて研修を行った。又、自己評価から明らかになった自己の課題の解決に向けて、個人テーマに沿った研修に参加することで保育力を高めた。	園全体のテーマや個人の課題に基づき研修を受講し、行事等の様子で日々の保育に活かし実践していると評価できる。
2		[思いやりの心の育ち] 園の望ましい幼児像に掲げている「やさしく思いやりのある子ども」を育てる読書活動の推進	蔵書点検を夏休み期間に実施し、蔵書の充実を図った。読み聞かせの実施については、当年度実施回数を100回に目標を設定し、毎日の保育において絵本や紙芝居等の読み聞かせを計画通り実施した。	絵本は友達と仲良くさせたいとかしつけの為とか大人の気持ちを持って読むものではないので楽しく読んであげることが大切。保育者もそのような心持で読むことで子ども達が自ら感じる心で育つように実施して欲しい。
3	大学・地域との連携	[地域との交流促進] 行事を通じて地域との計画的な交流の実施	4月に昨年度の計画を見直したうえで、より効果的な交流の在り方を検討し実施計画を立案した。年間行事としている6月の田植え、9月の稲刈りおよび12月の餅つきについては、事前に実施計画を作成うえで実施し、実施後は反省会を開催して次年度の地域交流につなげていく。	高齢者との関わりをもう少し持つように高齢者の方々を招いて「昔あそび」みたいなことをしていたわる気持ちや挨拶の大切さなどを学ぶようにしてほしい。又、地域との交流としてフットサルチームとの交流をしてはどうか。田植え・稲刈りについては、例年通りの流れで評価できる。
4		[大学教員との連携による保育の質の向上] 体操教室（および英語教室）の実施	運動習慣基盤づくりの体操教室および集中力・表現力養成のリトミック教室を計画どおり週1回を基本に実施した。また、外部講師による英語教室を、年長・年中・年少を対象に月2回を基本に実施した。	体操教室等の見学会を年1回でなく数回程開催して欲しい。又、大学の構内と言う恵まれた環境を使ってマラソン大会等企画して欲しい。又、子ども一人ひとりの様子が違うので結果重視にしない方針も良いと評価できる。
5	幼稚園運営の強化	[未就園児教室の充実] 入園希望者を絞り、スムーズな入園に繋げる	昨年度のプログラムを見直したうえで、平成30年度の年間スケジュールを作成した。実施したわくわく保育の様子（写真）はホームページに公開し、参加促進を図った。参加者の満足度向上および次回参加に繋がる新企画を課題として検討を重ねながら、保育に反映させた。	未就園児教室の活動から入園に繋がっていることが評価できる。このまま内容を精査して続けて欲しい。
6		[保護者に信頼される園づくり] ホームページにおける情報発信の充実	昨年度の反省に基づき、園の取り組み、お知らせ、保育の様子等について毎月ホームページの更新を実施し情報発信を行った。	ホームページでの発信で子どもとの会話に発展し、園内の様子がわかる。更新を続けて欲しい。